

2012年7月30日

エフセキュアの調査でコンテンツ保護が主要な関心事と判明 セキュリティおよびプライバシーも上位にランクイン

(2012年7月26日ヘルシンキ発 - フィンランド本社発表資料抄訳)

エフセキュア・コーポレーション（本社：ヘルシンキ フィンランド、以下エフセキュア）の最新の調査によると、世界の個人ユーザの77パーセントが、デバイス以上にコンテンツが重要であると述べています。また個人ユーザは、自分たちのコンテンツに誰がアクセス可能なのかを懸念しながらも、以前にもまして多くのコンテンツをシェアしています。すべてのデバイスで、いつ、いかなる場所でも安全な共有を可能にするのが、F-Secure Content Anywhere です。

エフセキュアが世界のブロードバンド加入者を対象に行った調査*により、セキュリティやプライバシー、デジタルコンテンツの保存やシェアに関連する問題が、主要な関心事であることが明らかになりました。この調査結果は、ユーザ自らが生成するコンテンツが急増しているばかりでなく、インターネットへのアクセスに複数のデバイスが使用されるようになった、デジタルランドスケープの変化を反映しています。

「ウイルスやマルウェア、その他のオンライン脅威からの保護は、従来にも増して重要です。また新たに、個人ユーザが多くのデバイスでコンテンツを保存し、同期させるための安全な方法や、こうしたコンテンツをオンラインで、いつでも、どこでも安全に共有するための方法も求めていることが分かりました」と、エフセキュアの Customer and Market Operations 部門担当副社長 Samu Kontinen は述べています。

大多数の個人ユーザが安全な共有を望んでいる

今回の調査では、ソーシャルプラットフォーム上で自分たちの生活情報をシェアする際、大部分の回答者（76%）がプライバシーについて不安を感じていることが分かりました。ソーシャルメディアとクラウドストレージ・ソリューション双方に関して質問すると、個人ユーザは自分たちの写真やビデオ、ドキュメント、電子メールといったコンテンツに、誰がアクセスできるかということに大きな懸念（70%）を示しました。43%の回答者が、自分のコンテンツのコントロールがきかなくなっていると感じています。

回答者の39%は、コンテンツの保存やバックアップ、デバイス間での同期のため、すでに何らかのクラウドソリューションをアクティブに使用していました。また68%がどこにいても、すべてのデバイスですべてのコンテンツにアクセスできたら便利だと考えていることが分かりました。回答者の77%は、デバイスそのものよりもコンテンツの方が重要であると感じています。

ソーシャルメディアは著しい成長を遂げていますが、友だちや家族とコンテンツをシェアする最も一般的な方法は電子メール（74%）でした。これにCDもしくはUSBメモリ（54%）、ソーシャルメディア（50%）が続いています。とはいうものの、特に新興市場で、個人ユーザはデバイスやロケーションに関わらず、ソーシャルプラットフォームを介してコンテンツをすぐにシェアすることに興味を持っています。インドでは回答者の76%が、ブラジルでは61%が、この種のサービスは便利だと考えていました。

ブロードバンドプロバイダによるサービスを希望

回答者は概して、既存のインターネットサービスプロバイダを通じて、セキュリティやストレージ、バックアップ、同期のサービスに申し込みたいと望んでいます。こうした希望を持つ主な理由は、信頼できること（44%）、電話サポートが受けられること（41%）にあります。またプライベートなコンテンツや機密を要するコンテンツの保存や保護に関しては、DropboxやGoogleなどのグローバル企業を信用（51%）するよりも、さらに多くの人が自分のブロードバンドプロバイダを信頼（61%）しています。

「エフセキュアが時代を先取りしていることを、今回の調査結果が裏付けています。我々はISPパートナーを通じたクラウドベースのアンチウイルスソフトウェア提供のパイオニアであり、現在、世界40カ国以上、200以上の

ISP パートナーにおよぶネットワークを通じて、オンラインストレージ、バックアップ、同期のソリューションを提供しています」と、エフセキュアの社長兼 CEO、Christian Fredrikson は述べています。

エフセキュアがブロードバンドオペレータおよび携帯電話キャリアのパートナー向けに提供している主要なクラウドソリューション Content Anywhere により、オペレータは顧客に対し、自身のプライベートクラウドを通じて、PC や Mac、タブレット、スマートフォン、テレビを利用した安全なコンテンツの保存、同期、シェア、アクセスを提供することが可能になります。

Content Anywhere 詳細情報:

http://www.f-secure.com/ja/web/operators_jp/content-solutions/content-anywhere/overview

*エフセキュアのブロードバンド調査では、フランス、英国、ドイツ、スウェーデン、フィンランド、イタリア、スペイン、オランダ、ベルギー、USA、カナダ、ブラジル、インドおよび日本という 14 カ国の、20 歳から 60 歳までのブロードバンド加入者 6400 名を対象に、Web インタビューを行っています。今回の調査は 2012 年 5 月 25 日から 6 月 1 日までの期間、GfK により実施されました。

*エフセキュアの社名、ロゴ、製品名は F-Secure Corporation の登録商標です。

*本文中に記載された会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

エフセキュア株式会社 会社概要



<http://www.f-secure.co.jp/>

エフセキュアは、IT 先進国フィンランドで 1988 年に設立されて以来、23 年にわたりセキュリティ製品に取り組んでいる業界の老舗で、世界規模でセキュリティサービスを提供しています。1999 年に OMX ヘルシンキ証券取引所に上場し、以来、順調に成長を続けている株式公開企業のひとつです。

エフセキュア株式会社は、エフセキュア社 100%出資の現地法人として設立され、以降、増収を続けながら順調に企業規模を拡大しており、2009 年 5 月に日本法人設立満 10 周年を迎えました。

会社名:	エフセキュア株式会社
カントリーマネージャ:	アリエン・ヴァン・ブロックランド
所在地:	〒107-0052 東京都港区赤坂 2-11-7 ATT 新館 6F
設立:	1999 年 5 月
事業内容:	セキュリティ関連製品・サービスの販売およびサポート

本件に関するお問合せ先

エフセキュア株式会社

久保田 直己

Tel: 03-5545-8942 Fax: 03-5545-8945

Email: japan@f-secure.co.jp

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-11-7 ATT 新館 6F

URL: <http://www.f-secure.com/>

Blog: <http://blog.f-secure.jp/>